第 12 講　幕政の安定と文治政治
PART1 文治政治の開始

Chapter 1　４代将軍家綱の治世と名君たち

目標
江戸幕府が武断政治から文治政治に転換したのはなぜだろう？
文治政治期の代表的な「名君」の共通点について知ろう。

1　武断政治から文治政治へ

徳川家綱

①時代の転換

A　幕政確立期（初代家康～３代家光）

〔1　　　　〕**政治→**幕府が圧倒的な軍事力により他勢力を威圧

※度重なる改易により**牢人**が増加。

旗本奴・町奴など**かぶき者〔傾奇者〕**も横行し，治安が悪化した。

B　転換の契機

1651 年〔2　　　　　　　　　　〕〔慶安の変〕

※３代将軍家光が没し，若年の家綱が４代将軍に就任することが契機。

牢人の由井正雪・丸橋忠弥らが，それぞれ駿府と江戸で幕府転覆を企てるが失敗。

C　幕政安定期（４代家綱～７代家継）

〔3　　　　〕**政治→**朱子学に基づく徳治主義により人々を教化

※文教興隆，法律・制度・儀礼の整備など。

②**４代将軍**〔4　　　　〕の治世

叔父の会津藩主〔5　　　　　　〕や前代からの老中松平信綱〔知恵伊豆〕らが補佐。

晩年は**大老酒井忠清**〔下馬将軍〕が専権を振るう。

A　〔6　　　　　　　　　〕**緩和**（1651 年）

50 歳未満 17 歳以上の大名・旗本に末期養子を許可し，改易を緩和。

B　〔7　　　　　　　　〕**〔振袖火事〕（1657 年）**

江戸城天守閣を含む江戸市中の 55％を焼き，死者は 10 万人以上。

大火後，広小路と呼ばれる火除地が設けられ，

従来の**大名火消**に加えて旗本による**定火消**を設置した。

C　武家諸法度寛文令（1663 年）

キリスト教禁止を初めて明文化。

D　寛文の二大美事

殉死の禁止・大名証人制〔人質制〕の廃止。

※殉死の禁止により，下剋上思想が完全に消滅した。

E　寛文の朱印改め〔寛文印知〕（1664 年）

全国の大名に領知宛行状を再発行し，将軍権威を確認させた。

F　幕領〔天領〕の総検地

関東・畿内近国で実施し，幕府財政の安定を図った。

2　「名君」による藩政刷新

A　**池田光政（岡山藩）**→外様

陽明学者熊沢蕃山〔了介〕を家老に登用。

日本初の郷学〔8　　　　　　　〕を設立して藩士・庶民の教育にあたった。

※熊沢蕃山は私塾花畠教場を設けた。

B　**保科正之（会津藩）**→親藩

３代将軍家光の異母弟。甥の４代将軍家綱を補佐して幕政を主導した。

南学の朱子学者山崎闇斎に学び多くの書を著した。

※藩学稽古堂（のちの日新館）を設立。

C　〔9　　　　　　　〕**（水戸藩）**→親藩の御三家

明から亡命した**朱舜水**を招き，江戸藩邸内の**彰考館**において

歴史書『〔10　　　　　　　〕』の編纂を開始。前期**水戸学**の基礎を築いた。

D　**前田綱紀（加賀藩）**→外様

京学の朱子学者**木下順庵**や本草学者稲生若水を招き，学問を振興。

独自の農政改革である改作法を実施し，藩政・民政を整備。

※綱紀が教王護国寺〔東寺〕に寄進した桐箱に収められているのが，

　ユネスコ「世界の記憶」に登録された『東寺百合文書』。

まとめ

度重なる改易により牢人が増加，かぶき者も横行し治安が悪化したこともあり，
幕藩体制を確立していた幕府は武断政治から文治政治へと転換した。
文治政治期の名君は，学者を積極的に登用するという共通点があった。

Chapter 2　5代将軍綱吉の治世

目標
綱吉の「武家諸法度天和令」の特徴について知ろう。
赤穂事件があれだけ庶民の間で盛り上がったのはなぜだろう？

1　5代将軍綱吉の登場

1680年に就任した**5代将軍**〔[1]　　　　〕は，4代将軍家綱の弟の一人で上野国館林藩主。

①綱吉の初期治世＝天和の治

徳川綱吉

A　**大老**に**堀田正俊**を登用（1681年）

専横が目に余る大老酒井忠清を罷免し，厳しい政治を実行。

※勝手掛老中や勘定吟味役を創設し，財政を重視。

B　**武家諸法度天和令**（1683年）→諸士法度を統合

「**文武忠孝**を励し，**礼儀**を正すべきこと」。**8代将軍吉宗以後はこれを踏襲**。

②側用人政治の開始＝**元禄時代**

1684年，若年寄稲葉正休による大老堀田正俊殺害後は**側用人**〔[2]　　　　〕を登用し，大老格にまで優遇。将軍の独断を助長し，以後政治は激しく混乱した。

2　綱吉の政策と結果

①学問の重視→京学の朱子学者木下順庵を侍講とする

1684年　**安井算哲〔渋川春海〕**が貞享暦を作成し幕府の天文方となる

1689年　**北村季吟**が幕府の歌学方となる

1690年　**湯島聖堂・聖堂学問所**の創設

※林家の**林鳳岡〔信篤〕**を**大学頭**に任命し儒教・朱子学を重視。

②寺社の造営・修築→母・桂昌院の影響で仏教に帰依

③殺生・死を忌み嫌う風潮の高まり

1684年　〔[3]　　　　〕→神道の影響

※近親の死に際し，喪に服したり忌引をしたりする日数を定めたもの。

1685年　〔[4]　　　　〕（～1709年）→仏教の放生思想の影響

※繰り返し出された極端な動物愛護令。殺生を禁じ，捨子の保護なども命じたが，犬に対する施策が不評で，綱吉は「〔[5]　　　　〕」と呼ばれた。

④朝廷儀式の復興

1687年　221年ぶりに東山天皇が大嘗祭〔大嘗会〕を再興

1694年　192年ぶりに賀茂祭〔葵祭〕を再興

⑤〔6　　　　〕**事件**（1701～02年）

1701年　赤穂藩主浅野長矩〔浅野内匠頭〕が高家の旗本吉良義央〔吉良上野介〕を
江戸城中で斬りつけ，浅野は改易の上で即日切腹を命じられる。

1702年　大石良雄〔大石内蔵助〕ら赤穂浪士が江戸の吉良邸において仇討ちに成功。
全員（行方不明の1名を除く46名）切腹を命じられ，泉岳寺に葬られた。

⑥**貨幣の改鋳→**幕府の財政難対策として**元禄金銀**を発行

1695年，長崎貿易増大や運上賦課などの改革を行っていた**勘定吟味役**（のち勘定奉行）
荻原重秀の建議により，慶長小判より低品質の〔7　　　　　　　　〕を鋳造。

※約500万両の出目（差額収入）を得て幕府財政は一時的に潤ったが，
貨幣価値の低下により急速な物価上昇〔インフレーション〕が進行。
下級武士・庶民の不満は増大。

※〔8　　　　　　　〕**の噴火**（1707年，**宝永大噴火**）による駿河・相模・武蔵などの
降灰被害と「諸国高役金」という国役の賦課が人々に追い打ちをかけた。

⑦結果→**幕藩経済の破綻と社会の混乱**（**元禄文化**が開花）

A　商品貨幣経済の発達により元禄豪商が出現

あ　〔9　　　　〕**家**

摂津国伊丹の酒造業から発展。のち両替商・大名貸として成長。

い　〔10　　　　〕**家〔越後屋〕**

伊勢国松坂出身の**三井高利〔八郎兵衛〕**が越後屋呉服店・三井両替店で
財を成し発展。越後屋では“現金〔銀〕掛け値なし”の薄利多売商法を展開した。

う　**住友家**〔泉屋〕

17世紀後半，伊予国で**別子銅山**を発見。銅商・両替商として大坂を中心に発展。

B　華美の風潮の広まりにより士風が退廃

まとめ　天和の武家諸法度以降，忠孝や礼儀が重視されるようになった。
社会の停滞や物価高への不満が，赤穂事件で憂さ晴らしとなった。

第12講 PART 1 確認問題

1 ４代将軍徳川家綱～７代将軍徳川家継のときにとられた政治体制はどれか。

① 文治政治　② 正徳の政治
③ 大御所政治　④ 武断政治

2 ４代将軍徳川家綱の叔父で，幼少の将軍を支えた会津藩主はだれか。

① 堀田正俊　② 松平定信
③ 保科正之　④ 酒井忠清

3 日本初の郷学である閑谷学校を設立したのはだれか。

① 徳川光圀　② 池田光政
③ 前田綱紀　④ 保科正之

4 水戸藩が編纂し，前期水戸学の基礎を築いた歴史書はどれか。

① 『大日本史』　② 『東寺百合文書』
③ 『海国兵談』　④ 『国意考』

5 元禄時代，５代将軍徳川綱吉に登用された柳沢吉保の役職はどれか。

① 老中　② 大老
③ 名主　④ 側用人

6 湯島聖堂の初代大学頭に任命されたのはだれか。

① 北村季吟　② 堀田正俊
③ 安井算哲　④ 林鳳岡

7 元禄小判の鋳造を建議した勘定吟味役はだれか。

① 間部詮房　② 荻原重秀
③ 堀田正俊　④ 前田綱紀

8 伊予国で別子銅山を発見した後,
銅商・両替商として大坂を中心に発展した元禄豪商はどこか。

① 三井家　② 鴻池家
③ 住友家　④ 平野屋

第12講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：①

文治政治は，朱子学に基づく徳治主義により人々を教化し，秩序の安定を図ろうとする政治。

2 解答：③

保科正之は３代将軍家光の異母弟で，南学の朱子学者・山崎闇斎に学び多くの書を著した。

3 解答：②

池田光政は岡山藩の藩主。①の**徳川光圀**は水戸藩，③の**前田綱紀**は加賀藩，④の保科正之は会津藩の藩主。

4 解答：①

『**大日本史**』は，**水戸藩**が明から亡命した**朱舜水**を招き，江戸藩邸内の**彰考館**において編纂された。

5 解答：④

側用人は，将軍に近侍し，将軍の命を老中に伝える役職。

6 解答：④

①の**北村季吟**は幕府の歌学方，②の**堀田正俊**は綱吉が登用した大老，③の**安井算哲**は幕府の天文方。

7 解答：②

荻原重秀は，長崎貿易増大や運上賦課などの改革を行っていた。

8 解答：③

①の**三井家**は，伊勢国松坂出身の三井高利〔八郎兵衛〕が越後屋呉服店・三井両替店で財を成して発展。②の**鴻池家**は摂津国伊丹の酒造業から発展。④の平野屋は大坂の十人両替である有力な両替商。